

国語 教科の目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（１）社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。（２）社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。（３）言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

国語 第1学年の目標
（１）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
（２）筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
（３）言葉が持つ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

※【知】は「知識・技能」、【思】は「思考・判断・表現」、【態】は「主体的に学習に取り組む態度」

月	単元名	学習内容	評価規準		評価資料
4	言葉に出会うために ・野原はうたう ・声を届ける ・書き留める ・言葉を調べる 学びをひらく ・シンジュン ・情報を的確に聞き取る 5 ・情報整理のレッスン ・情報を整理して書く ・漢字1 ・漢字に親しもう1	①国語で何を学ぶのかを考える。 ②いろいろな言葉にふれながら、学習の見通しをもつ。 ③場面の展開に沿って、登場人物の関係の変化を捉える。 ④必要な情報を的確に聞き取り、メモに取る。 ⑤情報を比較・分類する方法を確かめる。 ⑥情報を集め、整理してわかりやすく説明する文章にまとめる。 ⑦漢字の組み立てや部首について理解を深める。	【知】	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている感じに加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・事象や行為、信条を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	【知】ABCE
			【思】	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。	【思】ACDFG
			【態】	・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 ・進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。 ・場面の展開について、描写を基に積極的にとらえ、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。 ・進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。 ・集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	【態】ABC
6	新しい視点で ・ダイコンは大きな根？ ・ちょっと立ち止まって ・思考のレッスン1 ・話の構成を工夫しよう ・漢字に親しもう2 ・文法への扉1	①説明の工夫を捉えながら、ものの見方を広げる。 ②文章の中心的な部分を捉え、段落の役割について考える。③文章の構成に着目し、要旨を捉える。 ④説得力のある根拠や意見と根拠の結び付きについて考える。 ⑤話題を決め、材料を選び、話の構成を考えてスピーチをする。 ⑥文法の定義や言葉の単位について理解する ⑦目的に合った情報を集め、活用する方法について理解する。	【知】	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている感じに加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・単語の類別について理解している。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	【知】ABCDE
			【思】	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。	【思】ABCDH

7	・情報社会を生きる		【態】 - 文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 - 進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。 - 話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチしようとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 - 単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。 - 引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。	【態】ABC
	言葉に立ち止まる - 詩の世界 - 比喩で広がる言葉の世界 - 言葉1 - 言葉を集めよう - 読書生活を豊かに	①豊かな表現にふれ、言葉のもつ力を考える。 ②詩を読み味わい、描かれた情景や表現の効果について話し合う。 ③段落の役割を押さえて読み、内容を捉え、言葉について考える。 ④指示する語句や接続する語句について理解する。 ⑤観点を決めて、言葉を集め、紹介文を書く。 ⑥様々な読書活動を知り、読書の幅を広げる。	【知】 - 事象や行為、信条を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 - 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 - 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を伝え合おうとしている。	【知】ABDEF
			【思】 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。	【思】ADEFGH
			【態】 - 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。 - 進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。 - 今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。 - 今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。 - 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を伝え合おうとしている。 - 文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。	【態】ABCD
9	心の動き - 大人になれなかった弟たちに…… - 星の花が降るころに - 聞き上手になろう - 項目を立てて書こう - 読み手の立場に立つ - 言葉2 - 漢字2	①言葉を通して、人の思いに寄りそう。 ②描写に着目して登場人物の心情を捉え、題名や表記のもつ意味や作者の意図を考える。 ③場面や描写を結び付けて読み、印象に残った部分について語り合う。 ④話を引き出すき方の工夫や質問の種類を知る。 ⑤相手や目的に合わせて情報を整理し、わかりやすい案内文を書く。 ⑥案内文の形式を確かめ、読み手の立場に立って文章を整える。 ⑦方言や共通語の特徴や役割について理解する。 ⑧漢字の「音」と「訓」の歴史や性質について理解する。	【知】 - 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 - 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている感じに加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 - 事象や行為、信条を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 - 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 - 共通語と方言の果たす役割について理解している。 - 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を伝え合おうとしている。	【知】ABCE
			【思】 「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。	【思】ABDF
			【態】 - 登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。 - 進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。 - 進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。 - 集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。 - 粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。 - 今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	【態】ABC
10				

11	筋道を立てて ・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ・思考のレッスン2 ・根拠を示して説明しよう ・漢字に親しもう3 ・話し合いの展開を捉える ・話題や展開を捉えて話し合おう ・大阿蘇	①根拠を明らかにしながら伝え合う。 ②文章の構成や展開の効果を考え、自分の考えを文章にまとめる。 ③原因と結果の関係について理解する。 ④資料を根拠として引用し、説得力のあるレポートを書く。 ⑤話題や展開を捉えて議論するための留意点を理解し、具体的な発言のしかたを考える。 ⑥話題や展開を捉えながらグループで話し合う。 ⑦言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。	【知】	・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている感じに加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・事象や行為、信条を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	【知】 ABCE
			【思】	・「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。	【思】 ABCDG
			【態】	・文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。 ・文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。 ・積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。 ・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。	【態】 ABC
	いにしえの心にふれる ・いろは歌 ・古典の世界 ・蓬萊の玉の枝 ・今に生きる言葉	①古典の文章に出会い、現代とのつながりを考える。 ②「いろは歌」を音読し、七五調のリズムを味わう。 ③中学校三年間の古典学習への見通しをもつ。 ④古文を音読し、現代文との違いを確かめ、描かれている古典の世界を想像する。 ⑤漢文を音読し、独特のリズムや言い回しに親しみ、故事成語について知り、自分の生活と結び付けて考える。	【知】	・音読に必要な文語の決まりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。	【知】 ABE
			【思】	・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。	【思】 ADH
			【態】	・古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。 ・進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。 ・積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。	【態】 ABC
12	価値を見いだす ・「不便」の価値を見つめ直す ・助言を自分の文章に生かそう ・漢字に親しもう4 ・文法への扉2 ・読書に親しむ	①発想を転換し、身近なものの新しい側面に光を当てる。 ②筆者の考えを要約し、根拠を明確にして意見をまとめる。③作品を選び、観点を決めて書評を書き、読み合い、お互いに助言し合う。 ④文節どうしの関係や連文節など文の組み立てについて理解する。 ⑤筆者のものの見方や考え方を捉え、考えたことをグループで話し合い、これからの読書生活について考える。	【知】	・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている感じに加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・単語の類別について理解している。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	【知】 ABCDFG
			【思】	・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。	【思】 AEG
			【態】	・積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を伝え合おうとしている。	【態】 ABCD

1	①作品や生活と向き合い、ものの見方を深める。 ②作品の展開を捉え、登場人物のものの見方を踏まえ、別の人物の視点から文章を書き換える。 ③単語は分類できることを知り、それぞれの性質の違いについて理解する。 ④語句や表現の工夫に着目し、筆者の考えや思いについて話し合い、自分の体験を振り返って伝え合う。 ⑤題材を選び、構成を考え、随筆を書く。 ⑥さまざまな表現技法の特徴とその効果を理解する。 ⑦漢字の成り立ちについて理解する。 ⑧観点を決め一年間の学習を振り返り、話の構成を考えフリップを作り、グループ内で発表する。 ⑨詩を読み味わい、作者の思いについて考えたことを語り合う。	【知】 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている感じに加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・事象や行為、信条を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・単語の類別について理解している。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	【知】 ABCDEF
2	自分を見つめる ・少年の日の思い出 ・漢字に親しもう5 ・文法への扉3 2・随筆二編 ・構成や描写を工夫して書こう ・言葉3 ・漢字3 ・漢字に親しもう6 ・一年間の学びを振り返ろう ・さくらの はなびら	【思】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考え、自分の考えを確かなものにしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。	【思】 ABCDEFG
3		【態】 ・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。 ・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。 ・粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。 ・積極的に比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、考えたことを伝え合おうとしている。	【態】 ABCD